

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【施策】 1 緑を残す
 【基本事務事業】 1601 樹林を保全する

【節】 安全で快適な生活環境の実現
 【項】 人と自然が共生するまちづくり
 【基本計画区分】 402【担当課】 5025000 みどりと花の課

【目的】 緑の保全率について 実績値 67.14% (H13)を 目標値 73.82%にする。

【背景】 現在の緑を取り巻く状況は、相続対策等により年々樹林地が減少しており、「緑の保護地区」として保全されている樹林地も減少している。江戸川沿いの斜面林は、自然的・歴史的資源が集中しており、松戸市の最も重要な緑地である。

コード 配下事務事業名
 160101 樹林等保全事業
 160102 樹林地確保事業

【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大
 松戸市緑の条例による「保全樹林地地区指定」に加え、市内全域を「特別保全樹林地地区指定」区域にして、より強い規制をかけると共に、都市緑地法による「特別緑地保全地区指定」を進めることとする。

【今後の課題】 身近な樹林を守るためには、これまでの「緑の保護地区」による保全だけでなく、「市有地化・土地利用規制」といった、より強い樹林地の保全が求められている。また、松戸の特長であり市街地に良好な景観をもたらす斜面緑地の積極的な保全についても求められている。

【重要性】 市内で残り少なくなっている樹林地をこれ以上減少させない。

【現状分析】 市内の樹林地は、相続税対策等により、年々減少しており、「緑の保護地区」指定だけでなく、樹林の市有地化・土地利用規制」といった、より強い保全が必要であると共に、森林ボランティア団体を育成し、ボランティア団体の保全活動による樹林地の保全が求められている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
樹林保全率			69.03	71.25	59.89	59.89	59.89
(%)			63.22	59.89	59	58.73	59.17
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1601 樹林を保全する
 【事務事業】 160101 樹林等保全事業

【施策】 1 緑を残す
 担当課: 5025000
 みどりと花の課

会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 402 戦略区分 成長

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
都市緑地法及び緑の条例により指定の拡大を図り、既存の樹林を保全する。また、山林所有者の維持管理を軽減するため、市民参加による樹林の維持管理体制をつくり、市内に残されている樹林地を恒久的に保存する。	樹林等保全地区指定面積 (ha)	緑の条例による指定は、3年～10年の協定等結び保全する制度であり、維持管理費の一部を助成できるため保全への協力が得られる	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9	計画額	15,457	15,560	20,492	14,504	19,913
			63.2	59.9	59	58.7	59.2	(一般財源)	15,457	15,560	20,492	14,504	19,913
	緑地・河川などの自然環境満足度 (%)	定期的な調査により、目的の指標の現状値が把握できるし、動向なども比較しやすい。	21.1	18.4	18.4	18.4	25	予算額	15,457	15,560	18,535	13,851	20,266
			21.1	18.4	18.4	18.4	25	(一般財源)	15,457	15,560	18,535	13,851	20,266
【対象】 松戸市民すべて・松戸市に 関係するすべての人・樹林地所 有者	()		0	0	0	0	0	決算額	13,171	12,924	14,706	12,793	17,740
			0	0	0	0	0	職員数	1.6	1.05	1.35	1.2	1.4
								【業務】 保全樹林地を指定する 特別保全樹林地を指定する 保護樹木を指定する					
								【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					

【定量分析】: 課題・現状分析

特別保全樹林地地区に、八ヶ崎地区ほか18箇所を指定しました。保全樹林地地区に、金ヶ作地区ほか32箇所を指定しました。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

年々減少する樹林地を保全するため、国に対する相続税の緩和措置要望や樹林地の維持管理等協力する森林ボランティア団体を育成し、パートナーシップによる樹林地保全事業を推進し、山林所有者の負担を軽減すると共に、保全に協力する体制づくりを進める。

【計画事業】

【計画事業名】 樹林等保全規制事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	保全樹林地地区等面積 598,900㎡ 市民意識調査 満足度21.1%	保全樹林地地区等面積 598,900㎡ 市民意識調査 満足度18.4%	保全樹林地地区等面積 598,900㎡ 市民意識調査 満足度18.4%	保全樹林地地区等面積 598,900㎡ 市民意識調査 満足度18.4%	保全樹林地地区等面積 598,900㎡ 市民意識調査 満足度25.0%
実績	保全樹林地地区等面積 632,166㎡ 市民意識調査 満足度21.1%	保全樹林地地区等面積 598,900㎡ 市民意識調査 満足度18.4%	保全樹林地地区等面積 589,500㎡ 市民意識調査 満足度18.4%	保全樹林地地区等面積 587,396㎡ 市民意識調査 満足度18.4%	保全樹林地地区等面積 591,762㎡ 市民意識調査 満足度25.0%

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1601 樹林を保全する
 【事務事業】 160102 樹林地確保事業

【施策】 1 緑を残す
 担当課: 5025000
 みどりと花の課

会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 402 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
山林所有者へ樹林地の寄附や借地についても理解を求め、残された樹林地を恒久的に保全する。	寄附面積 (ha)	緑地の保全に協力してくれる市民がいる。	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	計画額	0	0	0	0	0
			0.13	0.05	0.05	0.08	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								予算額	0	0	0	0	0
								(一般財源)	0	0	0	0	0
								決算額	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	職員数	0.4	0.75	0.65	1.2	0.8
			0	0	0	0	0	【業務】	樹林地等緑地の寄付を受け入れる 樹林地を借地する 樹林地等を買取る				
【対象】 樹林地所有者	()		0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

相続時に発生する相続税問題など、山林所有者が安心して樹林地を保全できる体制が無く、樹林地が年々減少している状況から、事あるごとに地権者に状況を説明し、理解を得ながら寄附のお願いをしてきた。H15からH19までの期間に約0.31haの樹林地の寄附を受けた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

寄附については引き続き進めていきますが、樹林の確保のため、平成18年度に制定された「緑地保全基金」の更なる充実をはかると共に、恒久的に緑地を保全していく施策を展開していく。

【計画事業】

【計画事業名】 矢切斜面緑地保全事業(買取計画は財政上の理由により当面保留)

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	寄附面積 0.1ha	寄附面積 0.1ha	寄附面積 0.1ha	寄附面積 0.1ha	寄附面積 0.1ha
実績	寄附面積 0.13ha	寄附面積 0.05ha	寄附面積 0.05ha	寄附面積 0.08ha	寄附面積 0ha

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	16 緑と花に親しむことができるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 緑を残す	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	1602 農地を保全する(緑地保全)	【基本計画区分】	402【担当課】 5025000 みどりと花の課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
緑の保全率について、実績値 67.14% (H13)を 目標値 73.82%にする。	市民ニーズや余暇活動の多様化により、市民農園や一坪菜園等を通じ、土に親しむ「場」の提供が求められている。	160201	農地保全規制事業	成果改善
		160203	農地活用促進事業	遊休地を活用し、「市民農園」の拡大を図り、徒歩圏内で市民が利用できるよう適正配置を目指す。

【今後の課題】
 農業後継者不足や相続対策等により、農地は年々減少しているが、生産緑地、市民農園、一坪菜園等により良好な農地を保全し、減少を防ぐ。

【重要性】
 東部、千駄堀、金ヶ作地区等、市内の良好な農地を活かして、近隣地域の住民を対象とした「市民農園」の整備を促進する。また、高塚地区の観光梨園についても引き続き支援を行う。

【現状分析】
 農業後継者不足や相続税対策等により、農地は年々減少しているが、余暇を利用し土に触れたい市民ニーズが増加しているため、生産緑地や遊休農地を活用した「市民農園」を拡大支援を行うことにより農地の保全を図る。

【指標】	上段:予算目標	下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
農地規制面積			174.2	174.2	174.2	174.2	174.2
(ha)			171.1	169.2	165.6	161.8	159.5
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	16 緑と花に親しむことができるようにする	【施策】	1 緑を残す
【基本事務事業】	1602 農地を保全する(緑地保全)	担当課:	5025000
【事務事業】	160201 農地保全規制事業	みどりと花の課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 402 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
市街化区域内農地を生産緑地地区に指定し、農地を緑地として保全する。	生産緑地指定(ha)	農地として肥培管理を望む農地所有者がいる。	171	169	169	169	169	計画額	52	52	157	157	156	
			171	169.23	165.64	161.75	159.52	(一般財源)	52	52	157	157	156	
								予算額	52	52	154	154	153	
								(一般財源)	52	52	154	154	153	
				0	0	0	0	0	決算額	22	22	184	133	150
				0	0	0	0	0	職員数	0.8	0.75	1.2	1.15	1.1
【対象】 市街化区域の農地所有者								単位) 事業費:千円 職員数:人						
			0	0	0	0	0	【業務】	生産緑地指導関係業務					
			0	0	0	0	0							

【定量分析】:課題・現状分析

生産緑地は相続税問題や後継者不足により年々減少していますが、定期的に新規指定を募集して、地区指定できるものについては、指定をしました。平成15年度 約1.06ha・平成16年度 約0.15ha・平成19年度 約2.23haを追加指定した。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

余暇を利用し土に触れたい市民ニーズが増加しているため、生産緑地地区や休耕地を利用した「市民農園」を拡大し、徒歩圏内で市民が利用できるよう適正配置を目指す。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1602 農地を保全する(緑地保全)
 【事務事業】 160203 農地活用促進事業

【施策】 1 緑を残す
 担当課: 5025000
 みどりと花の課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 402 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
休耕地を利用し、土に親しみたい市民が徒歩圏内で利用できるよう「市民農園」を市内全域に適正配置し、農地を緑地として恒久的に保存する。	市民農園数(箇所)	承認している市民農園については、現況把握が可能である。	12	1	1	1	1	計画額	31	21	21	11	0
			12	0	2	0	4	(一般財源)	31	21	21	11	0
								予算額	31	21	21	11	0
								(一般財源)	31	21	21	11	0
								決算額	9	14	16	6	0
	(0)		7	0	-2	-5	0	職員数	0.7	0.65	0.95	1	0.7
			7	0	-1	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	一坪菜園関係業務 市民農園関係業務				
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

機会あるごとに農地所有者に働きかけ、市民農園を平成17年度に2箇所、平成19年度に4箇所指定しました。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

休耕地の農地所有者に働きかけ、市民が徒歩圏内で利用できるよう市民農園の適正配置を目指し農園を増やす。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	16 緑と花に親しむことができるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 緑を残す	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	1603 農地を保全する(農地保全)	【基本計画区分】	402【担当課】 3933000 農政課

【目的】	農地を保全する。	【背景】	農業従事者の高齢化及び後継者不足により農地の減少が著しい。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性	現状維持
				160302	農地保全規制事業		生産緑地の適正指導を行う。

【今後の課題】
農地の永続的保全

【重要性】
生産緑地の保全のための必要な指導を行う。

【現状分析】
生産緑地の適正使用の指導を行い、農地の保全を図った。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
指導件数			0	0	0	0	0
(㎡)			1	1	1	1	1
()			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	16 緑と花に親しむことができるようにする	【施策】	1 緑を残す
【基本事務事業】	1603 農地を保全する(農地保全)	担当課:	3933000
【事務事業】	160302 農地保全規制事業	農政課	
		会計区分	一般会計
		計画区分	一般事業
			503
		戦略区分	—
【目的】	生産緑地を適正に維持管理するため管理指導を行う。	【指標】	生産緑地の指導(件)
		【指標概要】	生産緑地の指導件数
		[H15]	[H16]
		[H17]	[H18]
		[H19]	【事業費】
			計画額
			(一般財源)
			予算額
			(一般財源)
			決算額
			職員数
			単位) 事業費: 千円 職員数: 人
			【業務】
			生産緑地指導関係業務
【対象】	生産緑地所有者への指導。	【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績
		【定量分析】: 課題・現状分析	【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
		制度の理解が図られるよう指導を徹底する。	生産緑地の適正使用の指導を継続する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	16 緑と花に親しむことができるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 緑を増やす	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	1604 公園・緑地を増やす	【基本計画区分】	402【担当課】 5026000 公園緑地課

【目的】 公園緑地面積を実績値 162.36ha (H13) を目標値 166.97haにする。	【背景】 緑の分布を見ると、緑の量が50%以上を占める地区は、市街化調整区域を含む地区に見られ、金ヶ作では多くの緑が21世紀の森と広場に存在している。江戸川河川敷では草地が主な緑となり、緑の量が30～50%未満の地区では、農地が主な緑となっている。緑の量が20%未満の少ない地区はJR常磐線・新京成線沿いの住宅地を含む地区に見られる。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
	【今後の課題】 都市環境の維持・向上や都市景観を創っていくためには、緑地を引き続き保全していくことが必要であり、また、新たな開発などにより喪失する恐れのある緑地も保全の対象としていくことが必要となる。	160401	街区公園整備事業	借地方式等による公園整備を調査・研究し、その実現を図る。
		160402	地域公園整備事業	
		160403	総合公園整備事業	
		160404	特殊公園整備事業	
		160405	市内公園緑地管理事業	
		160406	総合公園管理事業	

【重要性】
市内の緑は年0.5%減少し続け、一方で、時代の変化の中で、公園や緑地・水辺に対する市民ニーズの多様化・高度化、環境に対する市民の意識の高まり、高齢化、少子化によるレクリエーション動向の変化など、緑をとりまく新たな問題が発生してきた。公園整備や緑地に対する市民の評価が大変厳しくなりつつある中で、これらの問題を解決しながら将来にわたってよりよい緑の環境づくりを行うことが重要である。

【現状分析】
公園の未整備地域のほとんどは、旧市街地や区画整理等の基盤整備が行われていない地域で、ミニ開発が進められた地域である。このような地域に早急に公園の整備を進める必要があるが、昨今の財政事情から、用地を買収して公園化することは非常に難しい状況下にある。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
1人当りの公園緑地面積			3.5	3.51	3.53	3.54	3.55
(㎡)			3.45	3.45	3.43	3.52	3.51
()			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1604 公園・緑地を増やす
 【事務事業】 160401 街区公園整備事業

【施策】 2 緑を増やす
 担当課: 5026000
 公園緑地課

【目的】	【指標】	【指標概要】	【事業費】					【業務】						
			[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]		
住民が身近に緑と触れ合えるようにする。	公園数(累計)(箇所)	理由:市内には公園の不足している地域が多数あり、配置計画にのっとり適正に配置していくため。状況:平成15・16年度に稔台地区、17・18年度に栄町地区に配置している。	170	170	170	171	171	計画額	113,918	101,659	78,409	103,009	0	
			170	170	170	173	177	(一般財源)	28,918	28,359	19,909	25,809	0	
			0	0	0	0	0	予算額	113,918	98,262	78,409	74,472	0	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	28,918	24,962	19,909	18,672	0	
市に関する全ての人(主に誘致距離250mに居住の人)	()		0	0	0	0	0	決算額	111,510	95,455	78,311	73,020	0	
			0	0	0	0	0	職員数	2.9	2	2	3	0	
										単位) 事業費:千円 職員数:人				
			0	0	0	0	0	0	【業務】	稔台第2公園整備業務 栄町第3公園整備業務				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

松戸市内に、公園を適正に配置するため、特に公園が不足している地域に街区公園の整備を行った。○平成15・16年度 稔台第2公園○平成17・18年度 栄町第3公園

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

松戸市の財政事情を考慮すると今後の公園用地買収は非常に難しいと考える。借地による公園整備を視野に入れ検討していく。

【計画事業】

【計画事業名】 街区公園新設事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	稔台第2公園用地購入 1,084.94㎡ 稔台第2公園築造工事 0.19ha	稔台第2公園用地購入 828.92㎡	栄町第3公園用地購入 666.67㎡	栄町第3公園用地購入 666.67㎡ 栄町第3公園築造工事 0.20ha	
実績	稔台第2公園用地購入 1,084.94㎡ 稔台第2公園築造工事 0.19ha	稔台第2公園用地購入 828.92㎡	栄町第3公園用地購入 789.00㎡	栄町第3公園用地購入 544.34㎡ 栄町第3公園築造工事 0.20ha	

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	16	緑と花に親しむことができるようにする	【施策】	2	緑を増やす
【基本事務事業】	1604	公園・緑地を増やす	担当課:	5026000	
【事務事業】	160402	地域公園整備事業	公園緑地課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
					402 戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域の拠点となる近隣公園(主として近隣に居住するもの利用を目的とする公園)を整備し、市民の利用に供する。	公園数(累計)(箇所)	公園数(累計)	12	12	12	12	12	計画額	0	0	0	0	0
			12	12	12	13	13	(一般財源)	0	0	0	0	0
								予算額	0	0	0	0	0
								(一般財源)	0	0	0	0	0
								決算額	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	紙敷第1公園整備業務				
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

紙敷土地区画整理組合と整備の協議を行いました。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

平成21年3月(予定)の整備完了に合わせ紙敷土地区画整理組合とさらに協議していく。

【計画事業】

【計画事業名】 地域公園整備事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	紙敷に地域公園を整備する。(実施見合わせ)				紙敷に地域公園を整備する。
実績				紙敷土地区画整理組合との協議	紙敷土地区画整理組合との協議

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1604 公園・緑地を増やす
 【事務事業】 160403 総合公園整備事業

【施策】 2 緑を増やす
 担当課: 5026000
 公園緑地課

		会計区分 一般会計					計画区分 計画事業					402	戦略区分	—	
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]		
市内中心部に残された貴重な自然環境を守り育て、豊かな緑を後世に継承し、市民の共有財産として利用できるよう用地取得(全体面積50.5ha)を行う。	開設面積(全体50.5ha)(ha)	理由:昭和56年度より事業を開始し、全面供用を目標に行ってきたため。状況:未確保地及び未開設地が0.44ha残存している。	49.96	50.06	50.06	50.06	50.06	計画額	647,426	676,851	690,886	979,887	725,299		
			49.96	49.96	50.06	50.06	50.06	(一般財源)	274,926	304,351	226,086	240,687	218,499		
								予算額	647,426	657,551	695,327	730,611	726,895		
	買収済面積(ha)	理由:全体面積(50.5ha)のうち、計画期間内の進捗状況を把握するため。状況:平成14年度末時点で33.05ha買収及び保有済である。	33.56	34.08	34.76	35.58	36.41	(一般財源)	274,926	285,051	230,527	223,811	220,095		
			33.56	34.08	34.78	35.57	36.42	決算額	765,530	653,721	738,123	726,615	720,334		
								職員数	2.75	3.6	3.6	3.6	4		
								単位) 事業費:千円 職員数:人							
【対象】	()		0	0	0	0	0	【業務】	21世紀の森と広場用地確保業務 21世紀の森と広場施設整備業務						
市に関する全ての人(総合公園利用者)			0	0	0	0	0								
			【指標値】上段:予算目標 下段:実績												

【定量分析】:課題・現状分析

平成16年度に光と風の広場部分(21世紀の森と広場内)で未供用部分(1,000㎡)の整備を行い公園機能の充実を図りました。公園全体面積(50.5ha)のうち、5年間で3.36ha買収し、累計で36.42haを確保済みです。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

近年、国からの補助金が削減されている状況下であり、ますます確保が厳しくなる見通しである。今後においても、安定した国庫補助金の確保に努めて行かなければならない。

【計画事業】

【計画事業名】 総合公園整備事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	買収面積 5,077.53㎡	買収面積 5,253.45㎡	買収面積 6,764.69㎡	買収面積 8,174.75㎡	買収面積 8,330.33㎡
実績	買収面積 5,077.53㎡	買収面積 5,253.45㎡	買収面積 7,007.81㎡	買収面積 7,855.01㎡	買収面積 8,443.66㎡

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1604 公園・緑地を増やす
 【事務事業】 160404 特殊公園整備事業

【施策】 2 緑を増やす
 担当課: 5026000
 公園緑地課

【目的】	【指標】	【指標概要】	会計区分					計画区分					
			[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	一般会計	計画事業	402	戦略区分	-	
根木内城址の歴史的環境と自然環境を保全するとともに、市民に憩いの場所として利用してもらう。	用地買収面積 (ha)	理由:全体面積2.5haの内、計画期間内の進捗状況を把握するため。状況:平成17年度で全面買収となる。	0.3	0.4	0.1	0	0	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			0.3	0.4	0.12	0	0	【計画額】	264,189	264,363	141,970	0	0
	工事進捗率 (%)	歴史公園として整備するにあたり、全体面積の内、どの程度工事が完了しているのかを把握するため。状況:平成17年度で工事は完了する。	47	83.4	100	100	0	(一般財源)	50,489	63,163	22,170	0	0
			47	83.4	100	0	0	【予算額】	264,189	247,156	111,379	1,250	0
	()			0	0	0	0	(一般財源)	50,489	45,956	58,179	1,250	0
			0	0	0	0	【決算額】	262,815	245,794	109,445	1,295	0	
							職員数	2.55	3	3	0.5	0	
							【業務】	根木内歴史公園整備業務					
							【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績					

【定量分析】: 課題・現状分析

根木内城址の歴史的環境と湿地等の自然環境を保全した形で公園整備を行い、根木内歴史公園として平成18年4月に開園しました。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

中世の根木内城の城郭の一部が残されている歴史的環境と湿地や樹林地等の自然環境の保全を図る。今後の公園管理については、ボランティア活動を推進し、地域の自然と歴史を感じながら憩いの場としての提供を目指し、長期的な環境形成を図っていく。

【計画事業】

【計画事業名】 根木内歴史公園整備事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	用地買収 3,427.59㎡整備工事 11,000㎡	用地買収 3,580.91㎡整備工事 9,000㎡	用地買収 938.20㎡サービスヤード用地 258㎡整備工事 4,087㎡水洗便所設置工事		
実績	用地買収 3,427.59㎡整備工事 11,000㎡	用地買収 3,580.91㎡整備工事 9,000㎡	用地買収 938.20㎡サービスヤード用地 284.64㎡整備工事 4,087㎡水洗便所設置工事	家屋事後調査委託	

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	16	緑と花に親しむことができるようにする	【施策】	2	緑を増やす								
【基本事務事業】	1604	公園・緑地を増やす	担当課:	5026000									
【事務事業】	160405	市内公園緑地管理事業	公園緑地課	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				402	戦略区分								
					回避								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
21世紀の森と広場を除く既設の公園・緑地を気持ちよく利用してもらう。	苦情件数(%)	理由:市民からの苦情をどの程度処理できているか把握するため。状況:100%処理している。	100	100	100	100	100	計画額	331,154	328,522	329,032	331,852	347,041
			382	444	730	845	885	(一般財源)	330,441	325,777	328,319	331,139	346,295
	()		0	0	0	0	0	予算額	331,154	328,522	312,721	325,275	349,821
			0	0	0	0	0	(一般財源)	330,441	325,777	311,980	324,529	349,038
	0	0	0	0	0	0	0	決算額	325,863	328,971	315,647	324,814	348,971
							職員数	5.2	5	5	6.5	9.5	
								単位) 事業費:千円		職員数:人			
【対象】								【業務】	改良業務 維持管理業務				
市内各公園の利用者													
								【指標値】	上段:予算目標 下段:実績				
								【定量分析】:	課題・現状分析				
								公園利用者が支障なく使用出来るよう利用者ニーズを反映した維持管理に努めているが、近年のニーズの多様化により苦情数は増加している。					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								開発行為等の帰属による公園数の増加や各公園の老朽化に伴いリニューアルを図っていく。さらに、地域住民によるボランティア活動を推進し、行政と連携を図りながら、支障なく公園利用できるよう適正な維持管理に努める。					

【政策】	16	緑と花に親しむことができるようにする	【施策】	2	緑を増やす								
【基本事務事業】	1604	公園・緑地を増やす	担当課:	5026100									
【事務事業】	160406	総合公園管理事業	21世紀の森管理事務所	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				402	戦略区分								
					回避								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
21世紀の森と広場で自然とふれあい市民に気持ちよく利用してもらうように維持管理を行っている。	総合公園の苦情処理件数(件)	処理件数/要望・苦情件数公園の維持管理に反映し、より良い公園(自然とふれあえる気持ちよい公園)を目指すため。	100	100	100	100	100	計画額	241,252	226,731	227,025	225,926	216,122
			100	96	100	100	100	(一般財源)	236,415	221,953	222,247	221,148	211,609
	情報提供数(件)	自然学習に関わる自然観察会、昆虫ウォッチング、野草ウォッチング、バードウォッチング、みどりの教室、湿地観察会他と緑と花に関わるみどりの講習会、園芸教室、みどりの相談の実施回数。	1000	1050	1050	1050	1050	予算額	241,252	226,731	221,659	211,759	210,346
			1150	985	1262	1260	1377	(一般財源)	236,415	221,953	216,944	207,246	206,040
									決算額	227,072	220,026	209,495	202,499
								職員数	16	12.4	12.4	12.4	12
								単位) 事業費:千円		職員数:人			
【対象】								【業務】	21世紀の森と広場維持管理業務 カフェテラス維持管理業務 パークセンター維持管理業務 自然観察会維持管理業務				
総合公園利用者													
								【指標値】	上段:予算目標 下段:実績				
								【定量分析】:	課題・現状分析				
								公園管理の頻度や一部委託業務統合を図り、管理事業費の軽減を図りました。公園愛護ボランティアの育成を進めていくきっかけづくりとして、公園の芝張り、樹木剪定、花の寄せ植え、米作りなど、園芸講習会を通じて体験実習を行った。施設や見所情報を提供していくため、19年度よりセルフガイドブックを作成した。					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								自然尊重型都市公園として、自然とふれあい多様なレクリエーション活動ができるよう、公園の維持及び運営管理に努めていく。また、公園愛護ボランティアについても、園芸講習会などの体験実習を重ねボランティア活動を推進していく。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	16 緑と花に親しむことができるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 緑を増やす	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	1605 樹木や花を増やす	【基本計画区分】	402【担当課】 5025000 みどりと花の課

【目的】 公園緑地の面積を162.36ha(h13)から166.97ha(h19)に増やす	【背景】 市民による協力体制の推進や参画型コミュニティづくり、生涯学習の場づくりの一環として、市民や市民団体による公園緑地や河川・樹林地などの維持管理や都市緑花の推進が望まれている。	コード 160501 民有地緑化事業 160502 公共用地等緑化事業 160503 市民参加緑化事業	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 市民のボランティア活動への参加を促進するために、講座の開催や技術指導等の支援体制を整備し、市民参加による緑化事業を展開する。
--	--	--	---

【今後の課題】
市民のボランティア活動への参加を促進するために、参加者の事情に合わせた柔軟な活動のプログラムや、参加の「きっかけ」や「情報」の提供を行っていく必要がある。

【重要性】
市内の緑は年0.5%減少し続け、一方で、時代の変化の中で、公園や緑地・水辺に対する市民ニーズの多様化・高度化、環境に対する市民の意識の高まり、高齢化、少子化によるレクリエーション動向の変化など、緑をとりまく新たな問題が発生してきた。公園整備や緑地に対する市民の評価が大変厳しくなりつつある中で、これらの問題を解決しながら将来にわたってよりよい緑の環境づくりを行うことが重要である。

【現状分析】
計画目標を達成できなかったが、講座の開催や技術指導等の支援体制を整備して、緑のボランティア団体による緑化事業を推進し、目標を達成できるようにする。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
植栽面積			180.4	181.4	182.4	183.5	184.5
(ha)			176.6	177.2	177.8	180.6	181.9
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	16	緑と花に親しむことができるようにする	【施策】	2	緑を増やす
【基本事務事業】	1605	樹木や花を増やす	担当課:	5025000	
【事務事業】	160501	民有地緑化事業	みどりと花の課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
					402 戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
住宅地、商業地、工業地等のあらゆる場所で緑を創出するため、法による敷地内緑化の推進・屋上緑化・壁面緑化などの推進を図り、緑豊かな都市景観の形成を図る。	開発業者への指導(件)	宅地開発系事業等に関する例等、緑化が義務付けられている。	314	314	314	314	314	計画額	500	0	0	0	0
			314	236	246	276	222	(一般財源)	500	0	0	0	0
	(0)			0	0	0	0	予算額	500	0	0	0	0
				0	0	0	0	(一般財源)	500	0	0	0	0
				0	0	0	0	決算額	246	0	0	0	0
								職員数	1.9	1.6	1.25	1.15	0.95
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】 市民	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	民有地の緑化を進める 花いっぱい運動を展開する				
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

①開発行為における敷地内緑化を345件、107,725.90㎡を推進した。②商業地における屋上緑化については2件、27.11㎡を推進した。

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

法による敷地内緑化を指導しているが、法で定められている以上の緑化については協力が得られにくい。よって個人住宅の緑化に協力得られるよう、市民への緑化啓発及び指導を推進する。

【計画事業】

【計画事業名】 民有地緑化推進事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	開発業者指導件数 314件	開発業者指導件数 314件	開発業者指導件数 314件	開発業者指導件数 314件	開発業者指導件数 314件
実績	開発業者指導件数 314件	開発業者指導件数 236件	開発業者指導件数 246件	開発業者指導件数 276件	開発業者指導件数 222件

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1605 樹木や花を増やす
 【事務事業】 160502 公共用地等緑化事業

【施策】 2 緑を増やす
 担当課: 5025000
 みどりと花の課

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			89450	89450	89450	89450	89450	94652	計画額	154,703	143,732	140,652	139,080
道路や河川、公園及び駅前広場等に樹木や花を植栽し、街並みの景観向上を図るとともに、公共施設の緑化に努め、個々の施設が地域の緑として大きな役割を果たすようにする。	公共緑地面積(㎡)	維持管理の関係上、常に把握しているため現状が正確につかめる。(内容:都市緑地として告示されていない、小規模な緑地)	91602	91689	94729	94766	94652	(一般財源)	154,703	143,732	140,652	139,080	138,048
			607	607	607	607	607	607	予算額	154,703	143,732	135,855	138,815
	公共花壇面積(㎡)	維持管理上常に把握しているため現状が正確につかめる。(内容:駅前ロータリー等、市で設置し管理している花壇)	887	887	871	833	801	(一般財源)	154,703	143,732	135,855	138,815	146,400
			11147	11120	11120	11120	11120	11120	決算額	147,957	145,784	133,336	138,472
	街路樹総数(本)	市が維持管理している街路樹の総本数(国・県道含む)	11147	11122	11101	11109	11090	職員数	3.2	3.6	3.1	2.65	3.45
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績		【業務】		街路樹を植栽する 公共花壇を設置する 公共施設内を緑化する 育苗圃を管理運営する						
	【対象】 市民及び街路樹等沿線住民。	【定量分析】: 課題・現状分析 道路や河川、駅前広場等へ緑化を推進し、公共花壇面積用地801㎡、公共緑化面積 93,929㎡となりました。公共施設については、各支所を含む23ヶ所を促進しました。国、県へ道路緑化の推進を緑化推進を働きかけた。 2件											
	【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 道路における緑化空間は限界にきており確保できない状況である。既存の公共施設等の緑化について、用地管理者との協力を得て促進していく。												

【計画事業】

【計画事業名】 公共用地等緑化事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	公共緑地面積 89,450㎡公共花壇面積 607㎡街路樹総数 1,147本	公共緑地面積 89,450㎡公共花壇面積 607㎡街路樹本数 11,120本	公共緑地面積 89,450㎡公共花壇面積 607㎡街路樹本数 11,120本	公共緑地面積 89,450㎡公共花壇面積 607㎡街路樹本数 11,120本	公共緑地面積 89,450㎡公共花壇面積 607㎡街路樹本数 11,120本
実績	公共緑地面積 91,602㎡公共花壇面積 887㎡街路樹本数 1,147本	公共緑地面積 91,689㎡公共花壇面積 887㎡街路樹本数 11,122本	公共緑地面積 94,729㎡公共花壇面積 871㎡街路樹本数 11,101本	公共緑地面積 94,766㎡公共花壇面積 833㎡街路樹本数 11,109本	公共緑地面積 94,652㎡公共花壇面積 801㎡街路樹本数 11,090本

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1605 樹木や花を増やす
 【事務事業】 160503 市民参加緑化事業

【施策】 2 緑を増やす
 担当課: 5025000
 みどりと花の課

【目的】	【指標】	【指標概要】	【事業費】					【業務】					
			[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
市民の緑化活動への参加意欲を促進するため、誰もが気軽に参加できるよう技術指導や器材の支援、ボランティア育成講座、研修会の開催など、支援システム体制を強化し、行政・市民・企業が一体となって緑化を進めていく。	松戸市緑推進委員会の開催(回)	緑推進委員会は、市民代表等で構成され、松戸市の緑地保全・創出・緑化の推進に関する施策を定めた「緑の基本計画」の推進について調査・審議する機関である。	4	7	4	7	4	計画額	63,260	62,310	60,756	60,884	65,871
			4	7	4	0	0	(一般財源)	63,260	62,310	60,756	60,884	65,871
市民・松戸市に関係する人すべて	緑のボランティア団体数(団体)	公共用地の緑化・民有地の緑化など、パートナーシップにより緑化行政に関わり、緑化推進に協力してくれる団体である。	77	82	89	88	91	予算額	63,260	62,310	63,297	63,514	61,645
			82	85	89	93	97	(一般財源)	63,260	62,310	63,297	63,514	61,645
	イベント作業参加者(人)	緑や花に関心のある人が作業に参加し、緑化推進に協力してくれる市民である。	650	600	600	600	600	決算額	57,509	60,943	62,309	62,554	60,873
			650	700	650	0	0	職員数	5.45	6.9	6.9	4.25	2.8
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
								【業務】	緑推進委員報酬 緑推進委員会運営業務 緑のボランティア関係業務 松戸みどりと花の基金運営費補助金 江戸川フラワーライン整備業務				
								【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				

【定量分析】: 課題・現状分析

市民緑化活動団体の14団体へ支援しました。また、里やまボランティア入門講座を開設し、里やまボランティア活動団体 5団体の設立を支援しました。江戸川フラワーライン(約2ha)については、市民ボランティアとともに整備・管理しました。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

ボランティア活動に興味があり参加したい市民は多いが、一時的で継続する市民が少ない。誰もが気軽に緑のボランティアに参加できるように、技術及び情報提供などの講座の開催や支援センターの充実など、市民活動を積極的に支援する環境を整備する。

【計画事業】

【計画事業名】 市民参加緑化推進事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	緑推進委員会開催 4回 ボランティア団体総数 77団体作業参加者 600人	緑推進委員会開催 7回ボランティア団体総数 82団体作業参加者 600人	緑推進委員会開催 4回ボランティア団体総数 85団体作業参加者 600人	50緑推進委員会開催 5回ボランティア団体総数 88団体作業参加者 650人	緑推進委員会開催 5回ボランティア団体総数 91団体作業参加者 650人
実績	緑推進委員会開催 4回 ボランティア団体総数 77団体作業参加者 650人	緑推進委員会開催 7回ボランティア団体総数 82団体作業参加者 700人	緑推進委員会開催 4回ボランティア団体総数 89団体作業参加者 650人	緑推進委員会開催 4回ボランティア団体総数 93団体作業参加者 650人	緑推進委員会開催 4回ボランティア団体総数 97団体作業参加者 650人

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【施策】 2 緑を増やす
 【基本事務事業】 1606 水と緑をつなげる

【節】 安全で快適な生活環境の実現
 【項】 人と自然が共生するまちづくり
 【基本計画区分】 402【担当課】 5034100 河川清流課・清流ルネッサ

【目的】 公園緑地の面積を162.36ha(h13)から166.97ha (h19)に増やす

【背景】 宅地開発など市街地の拡大により、市内の自然環境は悪化の傾向にあり、樹林地や農地などの緑の面積は平成7年度で市域全体の31.8%となっており、昭和63年の35.6%と比較して約4%減少している。その主なものは農地の減少によるものである。また、平成10年の市民一人あたりの公園緑地などの面積は9.5㎡となっており、近隣市の中では比較的高い整備量となっている。一方、河川については市内延長が53.8kmあり、1平方kmあたりの延長は0.88kmと県内ではもつとも大きな値となっている。また、水質をあらわす代表的な指標のBODは、坂川水系の弁天橋では、平成5年度から13年度にかけて

【今後の課題】 緑の環境を維持していくために、減少する樹林地や農地などの積極的な保全と、既存の緑を活用した自然にふれあえる身近な憩いの場の整備が求められている。また、河川については、水循環機能や河川の自浄能力を回復させることや、生き物と共生する視点をもった整備、特に水と緑の一体的な整備やネットワーク化による生態系に配慮した空間の確保が課題となっている。また、市民に求める役割としては、公園緑地や河川整備の計画作り・維持管理への参加や市民の演出による緑花などがあげられ、行政には市民が参加しやすい体

【重要性】 市民は、自由時間の増大などにより、自然とふれあう余暇活動や緑や川のボランティア活動への参加といった生活意識の変化に伴い、ゆとり、うるおい、やすらぎを豊かな緑や水辺に求めている。また、緑には機能面では環境保全、レクリエーション、防災及び景観といった大切な役割があり、河川には治水・利水機能だけでなく多様な自然環境や水辺空間を活かしたうるおいのある生活と、地域の文化を育む場としての役割が求められて

【現状分析】 水辺の整備と施設の適正な維持・管理により市民の憩いの場としての水辺が有効に利用されている。

コード 配下事務事業名

- 160601 回廊づくり整備事業
- 160602 広域公園整備要請事業
- 160603 水辺拠点事業

【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 成果改善

水とみどりに親しめるネットワークをつくる。緑地の積極的な保全、水辺空間における水循環機能や河川の自浄能力を回復させ、水と緑の一体的なネットワーク化に向けた取り組みを行う。

【指標】 上段: 予算目標 下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
水辺の遊歩道延長	13.68	13.68	13.98	14.28	14.53
(km)	13.68	13.68	13.68	13.68	13.68
	0	0	0	0	0
()	0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1606 水と緑をつなげる
 【事務事業】 160602 広域公園整備要請事業

【施策】 2 緑を増やす
 担当課: 5026000
 公園緑地課

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 402 戦略区分 ー

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
矢切地区に水と緑を生かした「水の拠点」づくりとしての広域公園の設置を千葉県に要請し、利用してもらう。	県の五カ年計画の位置付け達成率(%)	達成率	0	0	0	0	0	計画額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.2	0	0	0	0
【対象】								【業務】 矢切広域公園の整備を要請する					
市に関する全ての人(計画広域公園利用者)								【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					

【定量分析】: 課題・現状分析

広域公園は、昭和62年3月に千葉県が制定した「緑のマスタープラン」に位置づけられた公園ですが、平成9年12月に制定された「千葉県広域緑地計画」においては、東葛飾北部地域に「広域河川公園」の配置方針のみが示されていることから、本公園の位置づけを明確にしてもらうよう要望しました。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

矢切広域公園の必要性を引続き要請してきたが、千葉県より近年の財政状況悪化により、当該公園設置計画が困難となった旨の回答があった。当要請事業については終了とする。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 16 緑と花に親しむことができるようにする
 【基本事務事業】 1606 水と緑をつなげる
 【事務事業】 160603 水辺拠点事業

【施策】 2 緑を増やす
 担当課: 5034100
 河川清流課・清流ルネッサン 会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 402 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
ゆとりと潤いのある水辺空間を形成し都市環境の向上を図る。	施設利用度(%)	市民・利用者アンケートによる(施設整備への関心や利用の割合)	70	70	70	75	75	計画額	28,348	22,479	23,603	25,603	23,250
			70	70	38	35	36	(一般財源)	24,848	18,979	23,603	25,603	23,250
			0	0	0	0	0	予算額	28,348	22,479	22,399	22,645	21,225
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	24,848	18,979	18,899	22,645	21,225
			0	0	0	0	0	決算額	25,796	20,535	19,939	20,135	16,732
			0	0	0	0	0	職員数	3.55	3.55	3.55	1.5	1.5
【対象】 市民(通勤・通学者を含む)	()		0	0	0	0	0	【業務】	親水広場整備業務				
			0	0	0	0	0		湧水保全業務				
										水辺の健康エコロード整備業務			
								多自然型護岸整備業務					
									親水施設維持管理業務				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

水辺の健康エコロードの整備(完成)江戸川・坂川エコロード完成を記念してウォーキング大会を実施した。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

整備した施設の適正な維持管理を行う施設利用者を増加させるための周知活動を行う

【計画事業】

【計画事業名】 水辺拠点の整備・連絡事業(水辺の健康エコロード事業等)

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	水辺施設の整備遊歩道の整備	水辺施設の整備遊歩道の整備	水辺施設の整備遊歩道の整備	水辺施設の整備遊歩道の整備	水辺施設の整備遊歩道の整備
実績	親水施設維持管理遊歩道の整備 坂川の再生整備	親水施設維持管理遊歩道の整備 坂川の再生整備	親水施設維持管理遊歩道の整備 坂川の再生整備	親水施設維持管理遊歩道の整備 坂川の再生整備	親水施設維持管理遊歩道の整備 坂川の再生整備